

科目コード	R24248	科目名	臨床実習学内演習				
履修区分	必修	開講期	3年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	甲田 宗嗣・藤村 昌彦・伊藤 祥史・平岩 和美・馬屋原 康高・上川 紀道・石倉 英樹・江越 正次朗・谷岡 龍一・藤井 紀文・田邊 淳平・中川 敬汰・太田 光洋						
授業の概要	臨床評価実習に向けたOSCE (Objective Structured Clinical Examination、客観的臨床能力試験)を通して実践的な内容を学習する。また、臨床評価実習の履修に必要となる基礎知識の確認を行う。						
DPとの関連	慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている						
	理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている						
	生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている						
	理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている						
	地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている						
2025年度以降の学則適用用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。							
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）= 卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 理学療法評価の全体像を理解し把握する。 理学療法評価に必要な情報収集ができる。 模擬症例を対象とし臨床推論により問題点の抽出ができる。 						
履修上の注意事項	OSCEで達成できなかった事項については再度学習を行い、臨床評価実習が始まるまでに解決すること。生成AIの使用については、この講義での使用は禁止する。具体的な日程は別途連絡する。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	講義：問診による障害像の把握【甲田】				理学療法評価で必要となる問診の項目について復習しておく(60分)	
	2	演習：問診ついて、自己課題の整理と課題演習【甲田 他】				問診について、自己課題の整理と課題の復習をしておく(60分)	
	3	実技試験：問診による障害像の把握【甲田 他】				理学療法評価で必要となる問診の項目について復習をしておく(60分)	
	4	講義：運動器疾患を主体とする症例の評価【上川】				運動器疾患に対する評価項目と評価方法について復習をしておく(60分)	
	5	演習：運動器疾患に対する評価項目と評価方法について、自己課題の整理と課題演習【上川 他】				運動器疾患に対する評価項目と評価方法について復習をしておく(60分)	
	6	実技試験：運動器疾患を主体とする症例の評価【上川 他】				運動器疾患に対する評価項目と評価方法について復習をしておく(60分)	
	7	講義：神経疾患を主体とする症例の評価【田邊】				神経疾患に対する評価項目と評価方法について復習をしておく(60分)	
	8	演習：神経疾患に対する評価項目と評価方法について、自己課題の整理と課題演習【田邊 他】				神経疾患に対する評価項目と評価方法について復習をしておく(60分)	
	9	実技試験：神経疾患を主体とする症例の評価【田邊 他】				神経疾患に対する評価項目と評価方法について復習をしておく(60分)	
	10	講義：Pre-OSCEの説明【谷岡】				Pre-OSCEの説明について確認し復習をしておく(60分)	
	11	演習：Pre-OSCEについて、自己課題の整理と課題演習【谷岡 他】				Pre-OSCEについて、自己課題の整理と課題の練習をしておく(60分)	
	12	Pre-OSCE：整形外科疾患【藤井】				Pre-OSCEの神経疾患に対する評価項目と評価方法について練習をしておく(60分)	
	13	Pre-OSCE：中枢神経疾患【江越】				Pre-OSCEの神経疾患に対する評価項目と評価方法について練習をしておく(60分)	
	14	デイリーノート等の書き方、症例レポートの作成演習【平岩】				症例レポートに記載が求められる内容を復習しておく(60分)	
15	確認試験：基礎知識の総復習【石倉】				理学療法評価で求められる基礎的知識を復習しておく(60分)		
成績評価方法	実技試験とpre-OSCEと基礎知識確認テストをそれぞれ合格した者に対し、実技試験3領域60%、pre-OSCEを20%、基礎知識確認テストを20%の割合で評点する。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	使用しない						
参考書							
教員からのメッセージ	臨床評価実習に向けて取り組む課題が示される内容となっているので、1年次・2年次の復習を十分に行っておくこと。						
教員との連絡方法	各教員の指定したオフィスアワーで対応する。						
実務経験のある教員	本科目は、実務経験のある教員による実践的教育から構成される科目です。						